

講義名	家族社会学		
科目区分	学部専門基礎 選択必修		
担当教員	水野 英莉		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	42072

主題と概要

家族は多くの人にとって身近なものだが、自分の持つイメージや理想、常識を超えて議論することは難しいテーマでもある。この講義では、未婚化・晩婚化、少子化、DV、介護など、現代の家族をあらわすキーワードについて学びながら、現代の家族をめぐる状況を理解し議論できるようになることを目的とする。受講者は現代の家族をめぐる状況について学ぶとともに、幅広いテーマを読み解く道具となる社会学やジェンダーの基本的な視点についても学ぶ。

到達目標

- ・社会学やジェンダーの観点から家族について考える姿勢をみにつけている。
- ・現代社会における家族をめぐる状況を理解している。

提出課題

授業内に課題を課すことがある。詳細は講義内で指示する。

評価の基準

平常点（出席点や提出物）と定期試験により総合的に評価する。平常点が3割、定期試験が7割とする予定。

履修にあたっての注意・助言他

私語等の授業を妨害する行為は厳禁。注意を受けても受講態度を修正できない学生は教室からの退出および欠席扱いとなる。
Responというアプリを使用して出欠確認、コメント提出を行う。初回授業で指示するので、必ず出席し、速やかに準備を整えること。

教科書

よくわかる現代家族 第2版	神原文子ほか	ミネルヴァ書房	2500	978-4-623-

プリント資料及び参考文献

講義時に資料を配布する。参考文献は適宜指示する。

授業計画

1. オリエンテーション
2. 家族をとらえる視点
3. 家族のイメージと実像
4. 近代につくられた家族
5. 近代につくられた家族
6. 結婚の動向
7. 夫婦関係と離婚
8. 子育てとジェンダー
9. 教育とジェンダー
10. 少子化と高齢化
11. 家族内の暴力
12. 社会が排除している家族
13. 家族が抑圧している個人
14. 開かれた家族
15. まとめ

予習・復習

講義に出席するだけでは、十分な理解は得られない。知識として定着させるには、予習・復習は不可欠となる。次回講義に学習する教科書該当箇所を読んでおくこと。また、受講後に資料やノートを見直し、知識を整理し、わからないことを質問できるようにしておくこと。

備考

受講生の理解度に応じて授業は行なわれるので、必ずしも授業計画の通りには進まないことがある。「社会学基礎」の講義を受講済みであることが望ましい。